

各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信

平成20年2月号

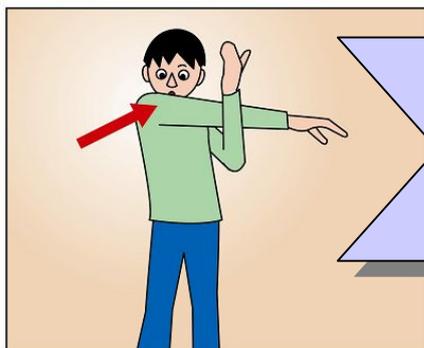
今、近隣ケアのみなさまとの“つながり”を深める取り組みをしています。

「近隣ケアグループ地区研修事業」は、市からの業務委託を受託して、地域包括支援センターが実施しています。昨年まではグループ代表の方のみを対象に年1回行われていました。しかし、代表者もメンバーも固定しているグループもあれば、どちらも1年、あるいは2年で交代するグループも多く、各グループによって様々です。そういった中で「代表者だけでなく、メンバー全員を対象に研修や情報交換会をやって欲しい！」という声が、市内全域の近隣グループのみなさまご自身から、多く市に寄せられていました。そこで今年度は、対象をメンバーの方々全員に拡大して研修・情報交換会を開催しております。

稲羽地区においては、地域包括支援センターつつじ苑が担当させていただいている圏域（稲羽西・東小学校区）の中で、ご地元でのつながりに歴史がある3つの地区（前宮、中屋、更木）ごとに連絡させていただき、実施しています。

その内容は、大きく分けて2つです。一つ目は、19年7月に各務原市高齢福祉課が作成した『近隣ケアグループ活動の標準手順』という小冊子などの各種資料をもとにお話をしています。そして意見・情報交換会です。各グループの抱える悩みや取り組みなどについて、地域包括支援センターと近隣ケアグループ、そして近隣ケアグループ同士、いろいろ話し合ってお互いのつながりを深めています。2つ目は、この通信7月号でも少し紹介させていただいた『認知症サポーター養成講座』です。終了時には参加していただいたみなさまにオレンジリングをお渡ししています。

みなさまが、それぞれの町で、できる範囲で無理なく活動を続けられるように、“ほんの少しでも参考になればいいなあ！”との思いで取り組んでいます。



自宅でできるストレッチ その①

三角筋（肩）を伸ばす体操です。
寒くて身体もこわばりますね。
おヒマな時にいかがですか？

「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 （担当 長谷川・西脇・林）